

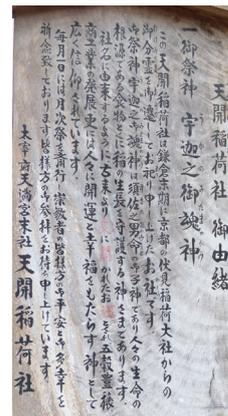
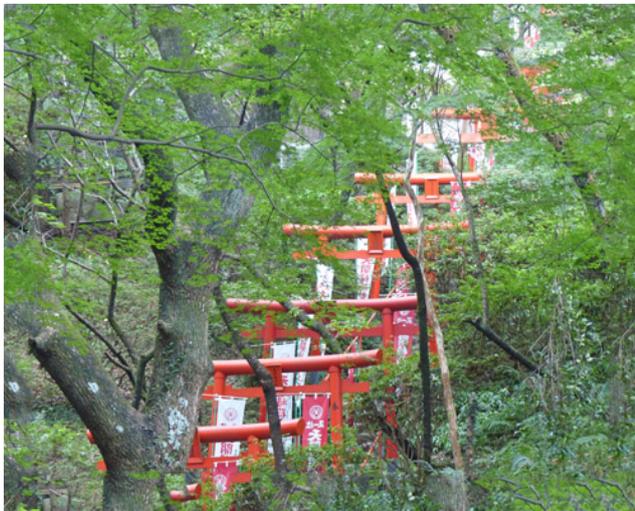
4933 ママチャリ日本縦断の旅：天開稲荷社・御由緒 141

鎌倉末期に、京都の伏見稲荷大社からの御分霊を御遷しして
お祀り申し上げたお社ですと御由緒には。

御祭神は、人々の生命の根源である食物、特に、稲の生長を守護する神さま。

五穀豊穡、商工業の発展、更には、人々の開運と幸福をもたらす
神として、広く信仰されています。皆様方の御平安と御多幸を祈念いたしておりますと。

今は神頼み。コロナを終息させてくれると、嬉しいのだが。





麒麟きりんおよび鸞うせ像
(県指定文化財)

麒麟は中国の瑞獣すいじゆう思想上の動物で、聖人が現われて王道が行われる時に出現すると伝えられ、管公御聖徳をたたえたものといえる。

鸞は、一月七日、一年中の嘘うそを天神様の誠心と取り替えていただく鸞替神事縁ゆかりの鳥で、幸運を運ぶ天満宮の守り鳥でもある。

嘉永五年（一八五二）に奉納されたもの。